

WATCH
instruction manual
取扱説明書



オリジナルウォッチ
アロナ&プラナ モデル

この度はお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用ください。

取扱上のご注意

■温度について

時計を直射日光にさらしたり高温になる場所、また寒いところ等、温度差の激しい場所に長時間放置しないでください。進み・遅れ等の精度に支障をきたします。常温に戻れば精度は回復しますが、激しい環境は時計の寿命に影響しますので十分にご注意ください。

■ショックについて

ジョギング等の軽い運動程度のショックでは機械に影響はありませんが、キャッチボールやテニス等で生じるショックは出来るだけ避けてください。また、落下や激しい接触等のショックは与えないでください。

■磁気について

携帯電話・テレビ・ステレオ・電子レンジ等の家庭用電気製品や、家具やハンドバックに付いているマグネット等の近くや上に時計を放置しないでください。時計が磁気の影響を受けて、精度が乱れ、止まりや遅れの症状が出る場合があります。短時間の影響でしたら一時的な精度の乱れで、磁気を発する製品から遠ざければ回復します。改めて時刻を合わせてお使いください。なお、長時間影響を受けたり、短時間でも強い磁気の影響を受けると、時計の部品が磁気化されてしまうので、脱磁(磁気を消す作業)をしなければ精度は戻りません。その際は時計店にご依頼ください。磁界の強さは磁気を発生させる製品からの距離によって変わります。5cm 離すだけでその影響は弱まります。

■ネジ等の外装部品について

ブレスレット等の外装部品に使用されているネジ類は、可動部分であるため年月とともに少しずつゆるんでいきます。メガネのネジがゆるむのと同じ現象ですので、定期的にネジ類の増し締めを行ってください。また、外装部品(ブレスレット・革ベルト・裏ブタ)等は使用中、常に人体に触れている部分です。そのため汗・脂等の汚れが付着しやすい部分です。こういった汚れと空気中のほこり等のゴミが時計に付着すると外装部分の変色・欠落・破損や肌にかぶれ・かゆみが生じます。末長くご使用いただくためにも定期的なお手入れを行ってください。

■裏ブタのシールについて

ご購入時に時計の裏ブタに添付してあるシールは必ずはがしてご使用ください。
シールがついたままでご使用されますとサビが発生することがあります。

■お手入れについて

ケースやブレスレット(革ベルト)等の外装部分は常に人体に触れているため、たいへん汚れやすい部分です。外装部分に汚れ・汗・水滴がついているときは、吸湿性の良い柔らかな布で拭き取って常に清潔にしてください。



- お客様の体質によっては、かゆみ・かぶれが生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じた時はご使用をお止めいただき、専門医にご相談ください。
- 汗や汚れが付着したまま使用しますと、サビなど衣類への汚れの原因になる恐れがあります。こまめな洗浄を心掛けてください。
- 力仕事や激しいスポーツをする時、就寝時や幼児の世話をする時など、身体に危害を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

機械式腕時計が、突然大幅に進んだり、遅れたり、止まったりする現象について

<精度が大幅に狂う原因>

「ヒゲゼンマイ」のからみによる場合が多いと云えます。機械式時計の調速機構の中に「テンプ」という部品が使われております。このテンプの中のヒゲゼンマイと呼ばれるゼンマイの動きで、時計の動きを制御しています。ヒゲゼンマイは大変繊細な部品で、時計が何らかの強い衝撃を受けた場合は、隣接しているパーツに引っかかるか、ヒゲ自体が絡みあったりします。ヒゲゼンマイは長さによって時間の進み・遅れを調節するパーツなので、ここに異常が起こるととんに大幅な狂いを生じさせます。

ヒゲゼンマイの絡みをとって正常な状態に戻せば、精度は戻ります。

<ヒゲゼンマイが絡むことが多いケース>

時計自体の落下、腕に衝撃を加えるゴルフ・テニス・野球等のプレイ中に起こりやすい。
或いはヒゲが磁気を帯びると、ヒゲ自体がくっつきあって大幅な時間の狂いが生じます。

■防水性について

時計修理品として持ち込まれるものの多くに、水没・水の浸食があります。水の浸食による故障のほとんどは、ご使用上の原因によるものと思われます。

一般的に時計は非防水・日常生活防水・完全防水と大別されます。

日常生活防水には、3気圧防水（または3ATMや30M防水やWATER RESISTANTと表記）、5気圧防水（または5ATMや50M防水やWATER RESISTANTと表記）などの分類があります。3気圧防水は汗・はねた水滴の付く程度（水圧のかからない状態）、5気圧防水は3気圧防水をやや強化したのですが、実際に30Mや50M潜れる訳ではなく、水に浸すこととなる素潜りや水泳には適しません。防水性を表す数字は水圧を表しており、水道の蛇口から出る水などは水圧が高く、水のかかり方によっては日常生活防水の時計でも水が浸食する場合があります。

また、防水性は年月とともに劣化します。電池交換時などに合わせて、定期的な防水検査をお勧めします。（時計の防水性を保つパッキンが、長期間の使用により温度や水分や汚れなどの影響を受け、弾力性が失われて防水性が低下する為）

防水時計であっても、その防水性以上の水圧がかかった場合は水の浸食により故障となります。水の浸食による故障は、その大半が修理不能となり保証も適用されません。お持ちの時計の防水性を必ずご確認の上、ご使用には細心の注意をお払いください。

○ネジ込み式リューズは完全に締めてからご使用ください。

使用例		汗・はねた水滴が つく程度 (水圧のかからない状態)	雨や水が かかる (水圧の極端な 変化がない状態)	水泳など 直接水に つける場合 (プールでの水泳程度)	ダイビング (空気をポンプで送り、深いもの および マリンスポーツ)	水滴の付いた 状態での リューズ操作
仕 様	5気圧 (5ATM・50m・WATER RESISTANT)	○	×	×	×	×
	10気圧 (10ATM・100m)	○	○	×	×	×
	15気圧 (15ATM・150m)	○	○	○	×	×
	20気圧・30気圧 (20ATM・30ATM・200m・300m)	○	○	○	○	×

自動巻時計 (AUTOMATIC)

自動巻の機能的条件

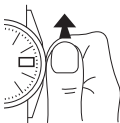
通常自動巻時計は、日常生活の中で約 8 時間腕に着けて、歩行や日常生活をすることが必要になっています。運動量が不足している時は、精度が不安定となり、遅れることがあります。その際はリューズを 12 時方向に回してゼンマイを巻き上げる必要があります。(下記〈手でゼンマイを巻く方法〉をご覧ください。)特に腕時計をはめた手でハンドバックを持った時や、長時間デスクワークに携わる場合等は、腕の運動量が不足し、時間に誤差が生じたり止まったりすることもありますので注意が必要です。

時間精度: 日差 ±40 秒以内

※ご愛用者の生活パターンによっても精度に多少の誤差が生じます。

〈手でゼンマイを巻く方法〉

使い始めや運動量が不足し、充分ゼンマイが巻き上がらない場合に使用します。リューズを通常的位置からねじ込みを開放した状態で 12 時方向に 20 ～ 30 回程度回してください。完全に巻き上げるには最低 55 回巻き上げます。



※自動巻ムーブメントは、時計本体に手などによる衝撃を加えますと、秒針が 1 秒程止まって、また動き出すことがあります。この現象は衝撃等により秒針だけが先行する事で起こりますが、遅れ等の原因にはなりません。機械的な構造上の特徴で、不良ではございません。また手による衝撃等を加えますと、ヒゲゼンマイの絡み等、他の故障の原因になりますのでお控えください。

GMT機能付き時計

■時刻およびGMT針の合わせ方

※リユーズを操作する際は、防水強化のためのネジ込み式になっていますので、一度ネジを緩めてから行ってください。

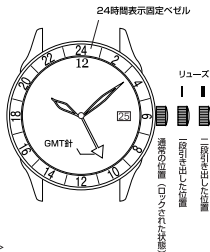
リユーズは2段式に引き出す仕組みになっています。

<時刻の合わせ方>

- 1.リユーズを2段引き出した位置(図:IIの位置)に引き出します。
秒針が止まり、時・分針が合わせられます。
- 2.合わせ終わりましたらリユーズを押し込んで通常位置の戻し、最後にリユーズをしっかりとねじ込んで完全に締めてください。

<日付とGMT針の合わせ方>

- 1.リユーズを1段引き出した位置(図:Iの位置)に引き出します。
右に回すと24時間針だけを動かすことができます。
左に回すと日付の早送りをすることができます。
日付の修正は時針の表示が午後9時から午前4時までの間は避けてください。
この時間帯に日付修正をすると故障の原因になることがあります。



<GMT針の使い方>

GMT針は時分針と連動して24時間で1周し、リユースを1段引いて右(時計回り)に回すと1時間ずつ単独で操作することが可能です。よって以下の二つの使い方ができます。

- ①【24時間針として使用】現在時間と同じ24時間表示固定ベゼル上の数字にGMT針を合わせます(お買い上げ時はこの状態です)。現在時刻が昼なのか夜なのかを確認できます。
- ②【GMT針として使用】GMT針を操作して時差のある海外の国の現地時刻と同じ24時間表示固定ベゼル上の数字に合わせます。そうすることで海外の国の時刻を常に確認できるようになります。

保証規定

時計をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により、1年間無料修理を行います。

■保証の対象になる部分

時計の内部部分(駆動系機械部分)、ただし、ケース、ブレスレット類の小キズ、汚れやガラスの破損による外観の変化は除きます。

■保証方法

修理・調整を原則といたします。修理の際、ガラス・ケース・文字盤・針・バンドなどは、一部代替品を使用させていただく場合がありますのでご了承ください。

■保証を受けるための条件

修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買上げ店にご持参ください。なお、保証書が添えてあってもお買上げ店名及び購入日の記載のないものは無効とさせていただきます。

■保証の適用除外

保証期間中であっても次の場合は有料修理となりますのでご注意ください。

- 誤ったご使用、お客様自身による修理、改造または、お取り扱いの不注意による故障。詳しくは、取り扱いの項をご参照ください。
- 保証書の提示がない場合。
- 保証書にお買上げ店名、ご購入日の記載のない場合。また、保証書の記載事項に訂正のある場合。
- 天災、火災、事故による故障、破損の場合。

※保証書は上記保証規定により無料修理を保証するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証は日本国内のみの適用とさせていただきます。

保証カード(別途付属)に下記項目をご記載の上、大切に保管してください。

保証期間は商品到着日より1年間となります。

GUARANTEE CARD	
Date	購入日(商品到着日)
Dealer	購入サイト名
Ref No	商品型番

修理問合せ先

株式会社ウエニ貿易サービスセンター
東京都台東区池之端1-6-13 境会館 2階

TEL.03-5842-1159
FAX.03-5815-8202